

(様式1) 新規評価総括表

事業種類	道路付帯施設の整備		事業名	交通安全施設等整備事業									建設部 道路管理課					
	番号	市町村名		(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H28年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請
								必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価					
1	こもろし 小諸市	(一)八幡小諸線 上ノ平	歩道設置工 L=400m W=2.0m	150,000	0	—	B	C	B	B	C	B	小学校が近隣にあるが当該箇所には歩道がないため、安全な歩行空間を確保する必要性があるものの計画熟度が低い。	小学校の通学路となっているが、歩道が未整備で危険な状況であることから、必要性は認められるものの、計画熟度が低い。	○			関係者との合意形成を進めた上で申請する
2	いなし 伊那市	(国)153号 沢渡	交差点改良 L=85m W=7.0(14.0)m 自歩道橋工 L=95m W=4.0m	300,000	0	—	A	A	C	A	C	B	交通量、自転車・歩行者が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、歩道整備が必要であるが計画熟度が低い。	交差点形状が悪く慢性的な渋滞が発生していること。また、犬田切橋部の歩道も未整備で危険な状況であることから、必要性が高いものの、計画熟度が低い。	○			公園混雑地域の問題を整理した上で申請する
3	たつの まち 辰野町	(国)153号 北大出原	交差点改良工 L=400.0m W=9.5(15.5)m	300,000	0	—	B	A	C	A	B	B	交通量も多く、渋滞による事故も発生している交差点であり、安全な交通空間を確保するため、交差点改良の必要性があるものの計画熟度が低い。	伊北インターを中心に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生していることから、重要性が高いものの、計画熟度がやや低い。	○			関係者との合意形成を進めた上で申請する
4	いなし 飯田市	(一)親田中村線 三穂	歩道設置工 L=1000m W=2.5m	200,000	10,000	H31	B	C	B	B	B	B	小学校が近隣にあるが当該路線には歩道がなく、また、交通量も多い路線であることから安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	小学校の通学路となっているが、歩道が未整備で危険な状況であることから、必要性、緊急性は認められる。	○	○	○	
5	いなし 飯田市	(一)米川駄科(停) 線 知久海道踏切	歩道設置工 L=230m W=2.0m	250,000	0	—	A	C	B	B	B	B	自動車交通量が多く、駄科駅乗降客や近隣の病院通院者の通行路であり、歩道整備が必要であるが計画熟度が低い。	駄科駅から近隣病院への通院や病院通院者が多く利用しているが、歩道が未整備で危険な状況であることから、必要性が認められるものの、計画熟度がやや低い。	○			関係者との合意形成を進めた上で申請する
6	あづみの し 安曇野市	(国)147号 本吉町	交差点改良工 L=200m	300,000	0	—	A	A	B	C	C	B	交通量の多い路線であり、交通渋滞が発生する交差点であるため、安全な交通空間の確保のために交差点改良が必要であるが計画熟度が低い。	松本市と大町市を結ぶ幹線道路で交通量が多く、交差点改良に伴う慢性的な渋滞解消を図ることから、必要性が高いものの、計画熟度が低い。	○			関係者との合意形成を進めた上で申請する
7	おふせ まち 小布施町	(国)403号 伊勢町～上町	歩道設置工 L=1250m W=3.5m	480,000	20,000	H32	A	A	C	B	A	A	交通量も多く、事故も発生している区間であり、安全な交通空間の確保のため、早期の改良が必要である。	小布施町の中心地で観光客が多く、小中学校の通学路にもなっているが、歩道幅員が狭く危険な状況であることから、必要性、重要性が高い。	○	○	○	
8	ながの し 長野市	(主)長野菅平線 南部小学校北	交差点改良工 L=100m W=20.0(29.5)m	100,000	10,000	H30	A	B	B	B	B	A	交通量の多い路線であり、長野市区画整理事業によって市道が拡幅されると交差点前後で幅員の違いが生じるため、安全な交通空間の確保のため早期の改良が必要である。	長野駅東口区画整理事業による市道幅員と県道側幅員との幅員の差を解消する必要があることから、必要性が高い。	○	○	○	

